

産業建設 分科会(予算決算常任委員会) 常任委員会

産業建設常任委員会に付託を受けた議案および予算決算常任委員会産業建設分科会に分担された議案について審査した結果、主に下記内容が議論されました。

- ◆委員長/佐藤喜典義 ◆副委員長/徳田正則
- ◆委員/木下敬夫、垣内武司、今田勇雄、杉本忠一

【8月会議】

委員会付託 ・なし
分科会分担 ・議案 1 件

【9月会議】

委員会付託 ・なし
分科会分担 ・議案 1 件



和倉温泉お祭り会館(左)と花嫁のれん館(右)

主な審議内容

【議案第29号】

令和2年度七尾市一般会計補正予算(第4号)

8月会議

◆観光施設管理運営費について

- ④指定管理者に対する経営支援金について、6事業者1施設50万円で損失の穴埋めができるのか。
- ⑤6事業者は、(有)重兵衛、(株)のと島、シダックス、(有)能登島ガラス工房、(株)石川スポーツキャンプ、(一財)休暇村協会であり、利用料金制の指定管理者としている。1施設50万円は、県の休業補償と同等と考えている。

【議案第29号】

令和2年度七尾市一般会計補正予算(第4号)

8月会議

◆広域的誘客対策事業費について

- ④観光拠点整備の内容はどのようなものか。
- ⑤和倉温泉お祭り会館にVR機器3台、多言語翻訳機1台、花嫁のれん館にVR機器1台、多言語翻訳機1台、VR映像コンテンツ委託料も含んでいる。

【議案第32号】

令和2年度七尾市一般会計補正予算(第5号)

9月会議

◆水産物販売促進緊急対策事業費について

- ④水産物販売促進緊急対策事業費の能登ふぐ提供について、今後の消費拡大に向けた考えはあるのか。
- ⑤能登ふぐ事業協同組合は、今後、保育園への提供も検討している。地元食材の消費拡大であるが、限られた給食費で高級食材を使用することは難しいため、県産食材を3割使用することを目指し、地元の白ネギをはじめとした野菜や魚等を使用している。



七尾で水揚げされたふぐ

決算審査 各分科会(予算決算常任委員会)

これまで決算審査特別委員会を設置して審査していたものから、予算審査を行った各予算決算常任委員会分科会で決算審査を行うこととなりました。

各分科会にて、令和元年度決算について審査した結果、主に下記内容が議論されました。

総務企画分科会
分担 ・議案 1 件

教育民生分科会
分担 ・議案 3 件

産業建設分科会
分担 ・議案 5 件

主な審議内容

【議案第37号】

令和元年度七尾市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について

◆がん検診受診率について

- ④がん検診受診率を見ていると、軒並み減っているイメージである。受診率向上を目指しているわけだが、成果が上がっていないように感じるが、どのように受け止めているかお聞かせください。
 - ⑤個別訪問で特定健診と合わせチラシ配布でがん検診の大切さを伝えていきます。昨年度には、各医療機関に大腸がんの検査キットを置き、医師から受診された方にキットを配り、検診を勧めることも行っています。
- 市のホームページでの情報発信や以前受診された方や節目の方(例えば40歳、60歳の方)への受診勧奨のはがきも出しています。引き続きしっかり進めていきます。

【議案第40号】

令和元年度七尾市病院事業会計決算の認定について

◆損益決算書について

- ④本業の医業収入も医業外収入も、だいたい昨年度に準じた数字で推移しており、医業収入の赤字を医業外収入でカバーしている。令和2年度決算は、コロナ禍により否応なしに医業収入はさらに赤字になるだろう。この場合に、医業外収入の特に一番大きな負担金・交付金が増えてくる要因はないか伺う。
- ⑤コロナに関しては、現在、国・県から支援金の要望調査がきているが、まだ決定しているものではなく調査段階です。これからこういうものに県と連携して対応していきます。